



あじさいだより

こどもの日に柏餅づくりを行いました ～グループホーム～

5月5日のこどもの日に、グループホームではご利用者様と一緒に柏餅づくりを行いました。炊きたてのご飯をよくつぶし、ラップの上に広げたら、あらかじめ丸めておいたあんこを中に包んでいきます。ご利用者様は「どうやって丸めようかな」と思案されていましたが、職員が説明し、見本をお見せすると、皆さん上手にあんこを包み込んでくださいました。中には「懐かしいなあ。昔はよう作りよったわ」と、かつてご自宅で作っていた思い出を話してくださる方もおられて、和やかな雰囲気に包まれました。

完成したお餅は、それぞれが柏の葉の絵の上にきれいに並べられ、手作りの柏餅ができあがりしました。3時のおやつの時間に、お茶と一緒に召し上がっていただき、「おいしいね」と笑顔がこぼれていました。

グループホームでは、今後もご利用者様と一緒に、季節を感じられる活動やおやつづくりを楽しんでまいります。



壁面を彩る季節の作品たち ～ケアハウス～

ケアハウスの食堂では、毎月、季節や行事にちなんだ壁面飾りを職員が工夫を凝らして作成しています。今月のテーマは「こどもの日」。こいのぼりや金太郎をモチーフに、少しずつ完成していく飾りを見ながら、「何ができるんじゃないだろう？」と楽しみにされるご入居者様の姿が見られました。完成した作品を前に、「すごいなあ！」「かわいいなあ」

「元気が出るね」と目を輝かせて感想を話し合う様子に、職員も嬉しい気持ちになります。そして、そんな皆様の声を聞きながら、来月の飾り付けに頭を悩ませる職員（笑）。

また、廊下にはご入居者様が趣味で撮りた



めた写真や、手作りの作品を飾らせていただいています。展示は季節ごとに入れ替えており、通りかかった皆様が足を止めて「これはどこじゃろ？」と話を弾ませる、ほっと和める空間になっています。ケアハウス全体が少しずつ明るく、楽しい雰囲気に包まれてきています。来月はどんな作品が登場するのか、今から楽しみです。

介護のポイント

介護を頑張るあなたへ ちょっと一息しませんか？ ～レスパイトという選択肢～



いつも大切な方の介護、本当にお疲れ様です。毎日休む間もなく、ご自身の時間もなかなか取れない・・・そんな風に感じていませんか？介護は、長く続くこともあります。だからこそ、「レスパイト」という言葉を知っておいてほしいのです。

レスパイトには「息抜き」や「休息」という意味があります。

介護におけるレスパイトとは、介護をされている方が一時的に介護から離れて休息を取ることです。短い時間でも自分の時間を持つことでリフレッシュし、また穏やかな気持ちで向き合うことができるようになります。

デイサービスやショートステイなどは介護を頑張る皆様をサポートするためのサービスでもあります。このようなサービスをうまく活用しながら、自分の時間を持つことで心身をリフレッシュし、介護疲れによるストレスや孤立感の軽減を図りましょう！

そこで！要介護認定が無くても利用できる「ヘルスケアセンターあじさい」をご利用ください！気になった方はデイサービスセンターあじさいまでお問い合わせください！



天理教ボランティアの皆様による清掃活動

毎年、天理教教会の皆様が地域貢献の一環として清掃活動に来てくださっています。今年も約40名もの方が来てくださり施設周辺の草刈り草抜きをしていただきました。2時間にわたり清掃活動をしてくださったおかげで、見違えるほど綺麗になりました。

ご利用者様も職員も新緑と共に新しい一日を迎えることができました。

また、天理教青年部の方が毎月様々な場所の清掃活動をして下さり、感謝しています。今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



◆寄付・寄贈御礼(4月)◆

内田 夏実 様

ありがとうございました

お知らせ

あじさいだよりはホームページからも読むことができます

「社会福祉法人 誠和 特別養護老人ホームあじさいのおか牛窓」ホームページ

<http://ajisai-s.or.jp/wp/>

あじさいだより

検索



QRコード